

管理番号 45

研究内容の説明文

献血者説明用課題名※ (括弧内は公募申請課題名)	正しい血液の搬送方法の確立 (適切な温度管理下で血液搬送)
研究開発期間 (西暦)	2023 年 4 月～2027 年 3 月
研究機関名	東京都立墨東病院 輸血科
研究責任者職氏名	部長 藤田浩

研究の説明

- 研究の目的・意義・予測される研究の成果等
血液搬送を、日本赤十字社は業務として行っていますが、病院職員である医療従事者は、搬送には不慣れです。院内で搬送（救急室、手術室、新生児病棟などの搬送）、院外への搬送（救急・災害現場への搬送、病院間利用、往診による在宅輸血など）では、適切な温度管理された搬送方法が必要です。今回、蓄冷剤など使用する搬送装置を用い、医療従事者が簡単に適切に搬送する手段を確立します。
- 使用する献血血液の種類・情報の項目
献血血液の種類：赤血球（規格外）、血漿（規格外）
献血血液の情報：なし
- 共同研究機関及びその研究責任者氏名
《献血血液を使用する共同研究機関》
なし
《献血血液を使用しない共同研究機関》
なし
- 献血血液の利用を開始する予定日
2024 年 6 月 1 日
- 研究方法《献血血液の具体的な使用目的・使用方法含む》
献血血液のヒト遺伝子解析：■行いません。 □行います。
《研究方法》搬送前・後の血液の質の変化を確認します。赤血球液では、血液の濃さ（ヘモグロビン量やヘマトクリット値）、ナトリウム、カリウム、アンモニア・乳酸（老廃物）、乳酸化デヒドロゲナーゼ（赤血球の壊れた指標）等を測定します。血漿では、血液凝固検査（血液の固まりやすさ、にくさの検査）を測定します。確立した搬送方法の結果は、非搬送群（血液専用保冷库）や、運べる冷蔵庫（可搬型血液搬送装置）での搬送との結果と比較します。
- 献血血液の使用への同意の撤回について
研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回が出来ます。
- 上記 6 を受け付ける方法
「献血の同意説明書」の添付資料の記載にしたがって連絡をお願いします。

受付番号 R060016

本研究に関する問い合わせ先

所属	東京都立墨東病院 輸血科
担当者	藤田 浩
電話	03-3633-6151
Mail	hiroshi_fujita@tmhp.jp

本書は日本赤十字社ホームページで公開され、必要に応じ献血者への説明資料として使用されます。